

令和 08 年度		調査	
綱木水道施設舗装本復旧第17次工事		設計書	
工事番号		施工地	
R8綱木簡水 第1号		東蒲原郡阿賀町綱木地内	
	実施・元	変更	
設計額	円	円	
契約額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	
工事・履行日数	工事日数 85 日間 又は 完成期限 年 月 日	日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日	
実施 (元) 設計概要	県道(歩道)復旧工 L=200m ・舗装工 A=373m ² ・仮設工(交通誘導警備員B)1式	変更 設計概要	

工事仕様総括

本工事は「新潟県土木工事標準仕様書」及び添付の「特記仕様書等」により施工すること。

本工事に係る工事書類については、新潟県土木部の【工事書類作成マニュアル】に準じて作成すること。

施工条件総括表

下記項目、事項のうち○印欄は工事施工にあたって制約等を受けることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合、明示されていない制約等が発生した時は、発注者と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施工条件
I 工程関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">該当する事項無</div>	1. 関連する別途工事あり
	2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・時 期： ・時 間： ・方 法：
	3. 関係機関協議による工程条件あり ・協議内容： ・完了予定時期：
	4. その他
II 用地関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">該当する事項無</div>	1. 工事用地等の未処理部分あり ・処理見込時期： ・区 間：
	2. 仮設ヤードの指定あり ・場 所： ・期 間：
	3. その他
III 公害対策関係 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: 5px;">III</div>	1. 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） ・施工方法： ・作業時間：
	2. 家屋等の調査の必要性あり ・方 法： ・範 囲：
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: 5px;">3</div> その他 ・機械の仕様は排出ガス対策型とする。
IV 安全対策関係 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: 5px;">IV</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: 5px;">1</div> 交通安全施設等の指定あり ・交通誘導員 2人体制 （当初設計では12人を計上しています。） ・その他施設：
	2. 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） ・内 容： ・工法制限： ・作業時間制限：
	3. 発破作業あり ・保安設備及び保安要員： ・防護工： ・作業時間制限：
	4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩壊等） ・内 容：
	5. その他

明示項目	施工条件
V 工事用道路関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">該当する事項無</div>	1. 一般道路を搬入路としての制限あり ・搬入経路： ・期 間： ・使用後の措置： 2. 一般道路の占用 ・期 間： ・規制条件： ・時間制限： 3. 仮設道路設置 ・工法指定の有無： ・用地関係： ・安全施設： ・工事完了後の「存置」または「撤去」 4. その他
VI 仮設備関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">該当する事項無</div>	1. 仮設備の指定あり 2. 仮設備の条件指定あり 3. 仮設備の転用、兼用あり ・工 種： ・内 容： 4. イメージアップあり ・内 容： 5. その他
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">VII</div> 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
VIII 工事支障 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">該当する事項無</div>	1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・内 容： ・移設、撤去、防護方法等： ・時 期： 2. 占用物件重複施工あり ・内 容： 3. その他
IX 排水工 （濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理の特別な対策あり ・内 容：
X 薬液注入関係	1. 薬液注入工法あり ・別紙条件明示による
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">XI</div> その他	1. 現場発生材あり ・品 名： ・納入場所： 2. 支給品及び貸与品あり ・品 名： ・納入場所： 3. 品質証明の対象工事 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">4.</div> その他 ・施工計画書を提出すること

明示項目	施工条件				
<p>X II 排出ガス対策型建設機械</p>	<p>1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、或いはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械、或いは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="475 568 1474 1205"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 568 1209 607">機 種</th> <th data-bbox="1209 568 1474 607">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 607 1209 1205"> <p>一般工事中建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>以下に示す基礎工事中機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの</p> <p>（油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン </td> <td data-bbox="1209 607 1474 1205"> <p>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	機 種	備 考	<p>一般工事中建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>以下に示す基礎工事中機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの</p> <p>（油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。</p>
機 種	備 考				
<p>一般工事中建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>以下に示す基礎工事中機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの</p> <p>（油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。</p>				
<p>X III 施工方法等</p>	<p>・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問解答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法、その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）</p>				

建設副産物特記仕様書

1. 再生材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
無し				

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考
無し				

3. 建設発生土の処理（再利用）

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	無し			
工事場所/施設所在地	無し			
連絡先				
受入時間				
受入費用				
仮置場所の有無				
備考				

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	Co廃材	AS廃材		
処理施設名称	無し	(有) 齋藤砂利		
施設所在地		泉市大蔵字廣瀬島1715		
連絡先		0250-47-2339		
受入時間				
受入費用				
備考		1,500円/t		

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化が完了した時は、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処理する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積りに資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxxx	TRxxxxxxxxx						
資材単価	TZxxxxxxxxx	Txxxxxxxxxx	TTxxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx	
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxxx	Kxxxxxxxxxx	KExxxxxxxxx	TMxxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxxx	MMxxxxxxxxx		
市場単価	TAxxxxxxxxx	TBxxxxxxxxx	TCxxxxxxxxx	TDxxxxxxxxx	TGxxxxxxxxx	TQxxxxxxxxx			
その他	T9999001～T9999099 ※		Fxxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxxx ※	TFJxxxxxxxx ※	TYxxxxxxxxx ※			
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx			

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準 [1 県版]	Sxxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準 [2 調査関係]	SAxxxxxxxxxx	SBxxxxxxxxxx
	SCxxxxxxxxxx	SDxxxxxxxxxx
積算基準 [3 港湾]	SDHxxxxxxxxx	SExxxxxxxxxx
	SSHxxxxxxxxx	
積算基準 [4 下水道]	SWGxxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準 [1 一般土木] 全国版	SWBxxxxxxxxx	WBxxxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxxx	CBxxxxxxxxxx
積算基準 [4 公園緑地]	SWCxxxxxxxxx	WCxxxxxxxxxx
積算基準 [6 機械・電気通信]	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxxxx
積算基準 [5 建設機械損料表]	MMJxxxxxxxxx	Kxxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1~4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1~4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

- ①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。
- ②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。
- ③代表機材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。
- ④パッケージコード※において積算地区の代表機材規格を減額処理した単価コード。
- ⑤パッケージコード※において積算地区の代表機材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

本工事費 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
** 本工事費 **					
本復旧工		式			
県道復旧工		式			
歩道部本復旧工		式			
歩道部復旧(打換)		一式			
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		370	
不陸整正		m2		370	
表層(車道・路肩部)		m2		373	
AS殻運搬(現場～仮置き場)		m3		14	
AS殻積込(仮置き場)		m3		14	
AS殻運搬(仮置き場～処分場)		m3		14	
AS殻処分費(t)		t		32	
仮設工		式			
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員B		人日		12	
直接工事費					
共通仮設費 (率分)					

本工事費 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 25 津川① 0-08.05.20(0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	07 舗装工事 05 一般交通影響有(2)-1 00 なし 40 40% 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 00 なし(対象外等) 00 なし(R02.10.20~) 00 小型車補正なし	

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 本工事費 **						X1000
本復旧工						Y1000000017
県道復旧工			式			Y2000000171
0 省略			式			
歩道部本復旧工						Y3000001090
0 省略			式			
歩道部復旧(打換)						Y4000020950
0 省略			一式			
舗装版破碎積込(小規模土工)						SCB210720
0 省略	370		m2			施工 第0-0001号内訳表
不陸整正 補足材なし						SCB410031
0 省略	370		m2			施工 第0-0002号内訳表
表層(車道・路肩部)						SCB410260
0 省略	373		m2			施工 第0-0003号内訳表
AS殻運搬(現場～仮置き場)						SCB227010
0 省略	14		m3			施工 第0-0004号内訳表

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
AS殻積込(仮置き場)						SCB210020
0 省略	14		m3			施工 第0-0005号内訳表
AS殻運搬(仮置き場～処分場) 五泉市大蔵						SCB227010
0 省略	14		m3			施工 第0-0006号内訳表
AS殻処分費(t) (有)斎藤砂利						SWB020052
土木単価表 P11 0 省略	32		t			施工 第0-0007号内訳表
仮設工						Y2000000172
			式			
交通管理工						Y3000003658
			式			
交通誘導警備員						Y4000026527
			一式			
交通誘導警備員B						SWB010212
0 省略	12		人日			施工 第0-0008号内訳表
直接工事費						
共通仮設費(率分)						

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

SCB210720 施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747

1

m2 当り

代表機 労 材 規格	構成比	単価(津川①)	代表機 労 材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' 小型バックホウ(クロー) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	20.13%	円/供用日	小型バックホウ(クロー) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3		MMJ0201034 MM090201034
R1t' 運転手(特殊)	71.97%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t' 軽油	7.90%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
費用の内訳	=1	全ての費用			
【補正式】 P' = P					
[機械補正]	$\times \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times$	Kr			
[労務補正]	$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times$	Rr			
[材料補正]	$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times$	Zr			
[全体調整]	$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$				

不陸整正
補足材なし

単価適用日/適用基準日 08年05月20日適用

頁0-0014

SCB410031 施工内訳表

施工 第0-0002号内訳表

1 m2 当り

機械構成比: 5.00% 労務構成比: 75.15% 材料構成比: 19.85% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 857.31

代表機	労材規格	構成比	単価(津川①)	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'	小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型] 超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	2.99%	円/供用日	小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型] 超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3			MMJ0201100 MM090201100
K2t'	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	1.78%	円/日	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t			TLC1070011 TL091070011
R1t'	運転手(特殊)	27.03%	円/人	運転手(特殊)			RR0114 RR9114
R2t'	特殊作業員	15.84%	円/人	特殊作業員			RR0101 RR9101
R3t'	普通作業員	15.70%	円/人	普通作業員			RR0102 RR9102
R4t'	土木一般世話役	13.01%	円/人	土木一般世話役			RR0125 RR9125
Z1t'	路盤材 修正	17.77%	円/式	再生クラッシャーラン RC-40 全仕上り厚 100mm			TY001100001 TZP91220030
Z2t'	軽油	1.99%	円/L	軽油			TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価			EP001
	全仕上り厚(実数入力)(mm)	=0		全仕上り厚(実数入力)(mm)			
	施工区分	=1		1層施工			
	材料	=9		路盤材(各種)			
	費用の内訳	=1		全ての費用			
	【補正式】 P' = P						

SCB410260 施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

機械構成比: 1.62% 労務構成比: 14.97% 材料構成比: 83.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,912.7

代表機	代表機	構成比	単価(津川①)	代表機	代表機	備考
材規格	材規格(東京地区)			材規格(東京地区)	単価(東京地区)	
K1t' アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m	アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m	1.04%	円/日	アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		TLC1210001 TL091210001
K2t' 振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド [®] 式] 運転質量3~4t	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド [®] 式] 運転質量3~4t	0.21%	円/日	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド [®] 式] 運転質量3~4t		TLC1070011 TL091070011
K3t' タイローラ[普通型] 運転質量3~4t	タイローラ[普通型] 運転質量3~4t	0.19%	円/日	タイローラ[普通型] 運転質量3~4t		TLC1060001 TL091060001
R1t' 普通作業員	普通作業員	5.11%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 運転手(特殊)	運転手(特殊)	3.49%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R3t' 特殊作業員	特殊作業員	3.41%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t' 土木一般世話役	土木一般世話役	1.24%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t' ⑨密粒度アスコン(13F)	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm	76.32%	円/式	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm		TZJ4100006 TZP91000030
Z2t' アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.78%	円/L	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TZJ4130002 TZ094130002
Z3t' 軽油	軽油	0.28%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価	積算単価			積算単価		EP001
平均幅員 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) 材料	=3 =40 =4	1.4m以上3.0m以下 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) ⑨密粒度アスコン(13F)				

SCB227010 施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1 m3 当り 3,023.6

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	20.25%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010010 MPM93010010
R1t' 運転手(一般)	71.03%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t' 軽油	8.72%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
殻発生作業	=3	舗装版破碎			
積込工法区分	=4	機械積込(小規模土工)			
DID区間の有無	=1	無し			
運搬距離(km)(DID区間無)	=4	2.5km以下			
費用の内訳	=1	全ての費用			
【補正式】 P' = P					
[機械補正]	$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$				
[労務補正]	$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$				
[材料補正]	$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$				
[全体調整]	$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$				

AS殻積込(仮置き場)

単価適用日/適用基準日 08年05月20日適用

頁0-0019

SCB210020 施工内訳表

施工 第0-0005号内訳表

機械構成比: 42.39% 労務構成比: 38.74% 材料構成比: 18.87% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1 m3 当り 287.14

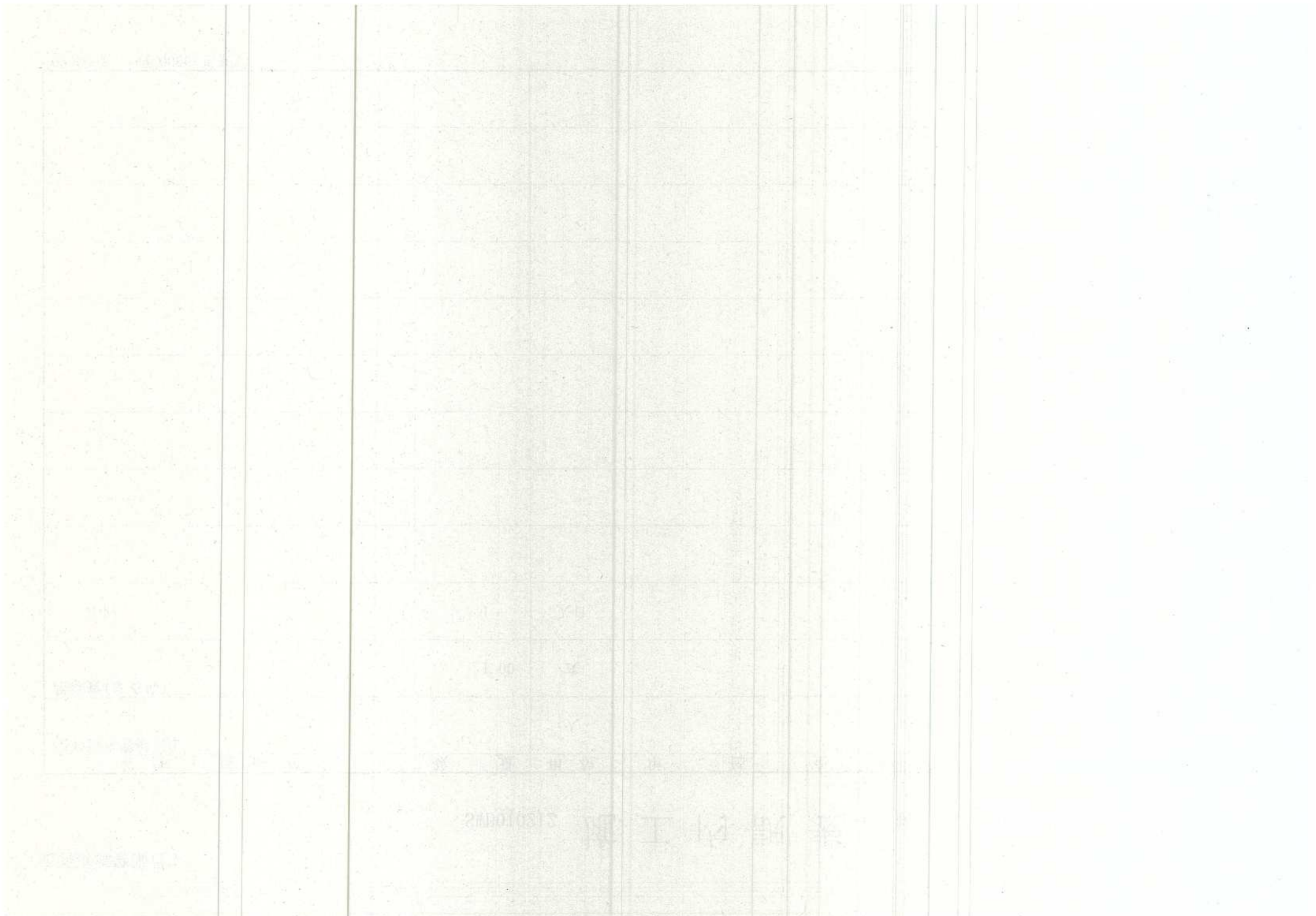
代表機労材規格		構成比	単価(津川①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'	バックホ(クロー型)[標準型] 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3	42.39%	円/供用日	バックホ(クロー型)[標準型] 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3		MMJ0202142 MM090202142
R1t'	運転手(特殊)	38.74%		円/人	運転手(特殊)	
Z1t'	軽油	18.87%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価				積算単価		EP001
土質 作業内容		=2 =1	岩塊・玉石 土量50,000m3未満			
【補正式】 $P' = P$						
[機械補正]		$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{R1t'} \right] \times \frac{Kr}{Rr} \right.$				
[労務補正]		$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{Z1t'} \right] \times \frac{R1r}{Zr}$				
[材料補正]		$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Z1r}{Z1r}$				
[全体調整]		$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$				

SCB227010 施工内訳表

施工 第0-0006号内訳表

機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87% 材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 7,231.9
1 m3 当り

代表機労材規格		構成比	単価(津川①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	44.05%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010050 MPM93010050
R1t'	運転手(一般)	39.87%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t'	軽油	16.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	殻発生作業	=3	舗装版破碎			
	積込工法区分	=3	機械(騒音対策不要、厚15cm以下)			
	DID区間の有無	=1	無し			
	運搬距離(km)(DID区間無)	=7	60.0km以下			
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					



【令和8年度 綱木水道施設 舗装本復旧 第17次工事 数量総括表】

○ 県道歩道部 【配水管φ150mm及びφ75mm埋設部分 全副打ち換え】

・ 舗装版掘削積み	0.13m3級 BH	A=	370 m2		
・ 不陸整正工	w=1.85	A=	370 m2		
・ 表層工	⑨密粒度As13F t=4cm	A=	373 m2		
・ As塊運搬工	現場～仮置き場	小規模土工	L=2.5km以下	V =	14 m3
・ As塊仮置き場での積み込み工	0.8BH			V =	14 m3
・ As塊運搬工	仮置き場～処分場	10tDT	L=60km以下	V =	14 m3
・ As塊処分費			処分場	t =	32 t

○ 県道車道部 【配水管 φ150mm埋設部分 半幅切削オーバーレイ】

・ 切削オーバーレイ	車道 ⑤密粒度As (新20FH)	t=5cm	施工規模4,000m2以下	A =	130 m2
・ 路面切削殻運搬	10DT L=60km以下			V =	7 m3
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	外側線 実線 (白)	L=	44 m
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	中央線 破線 (白)	L=	22 m
・ As塊処分費			処分場	t =	15 t

○ 県道車道部 【給水管埋設部分 w=1.2m 打ち換え】

・ 舗装版切断	t=15cm以下	L=	18 m		
・ 舗装版破碎工	0.13m3級 BH	A=	11 m2	(仮復旧+本復旧部分)	
・ 不陸整正	w=1.8m未満	A=	11 m2	(仮復旧+本復旧部分)	
・ 表層工	車道 ⑤密粒度As (新20FH)	t=5cm	w=1.2m	A =	11 m2
・ As塊運搬工	現場～仮置き場	小規模土工	L=2.5km以下	V =	1 m3
・ As塊仮置き場での積み込み工	0.8BH			V =	1 m3
・ As塊運搬工	仮置き場～処分場	10tDT	L=60km以下	V =	1 m3
・ As塊処分費			処分場	t =	1 t

○ 県道車道部 【配水管 φ100mm埋設部分 半幅切削オーバーレイ】

・ 切削オーバーレイ	車道 ⑤密粒度As (新20FH)	t=5cm	施工規模4,000m2以下	A =	800 m2
・ 路面切削殻運搬	10DT L=60km以下			V =	40 m3
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	外側線 実線 (白)	L=	225 m
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	中央線 破線 (白)	L=	113 m
・ As塊処分費			処分場	t =	94 t

【交通誘導員に係る配備人員の算定】

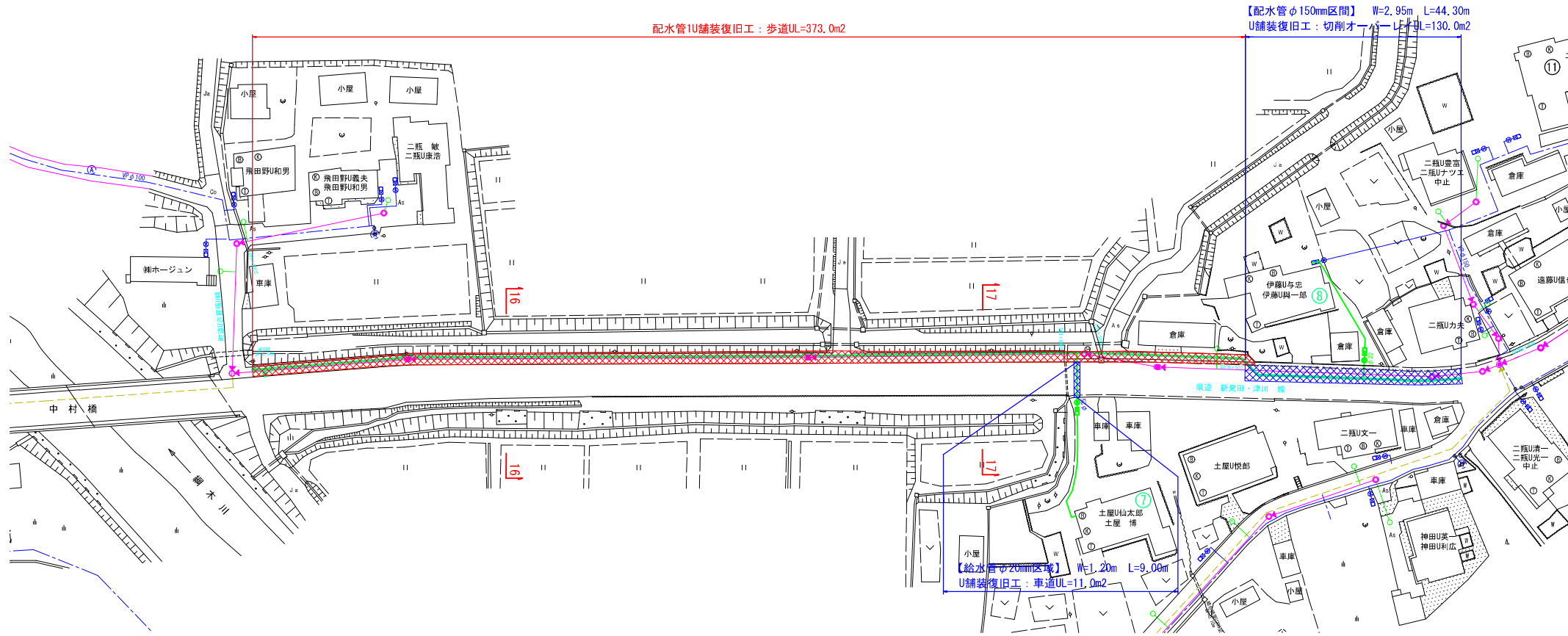
大工種	施工条件 ①	施工条件 ②	施工条件 ③	標準作業量	対象数量	作業日数
舗装版破碎工	アスファルト舗装 騒音振動対策無し	障害無し 厚さ15cm以下	直接掘削積込作業	484m ² /日	310m ²	1.60日
路盤工	不陸整正	歩道施工		250m ² /日・層	310m ²	0.80日
表層工	幅1.4m以上 厚さ70mm以下	歩道施工		940m ² /日・層	310m ²	3.00日
合計						5.40日

必要日数 6日

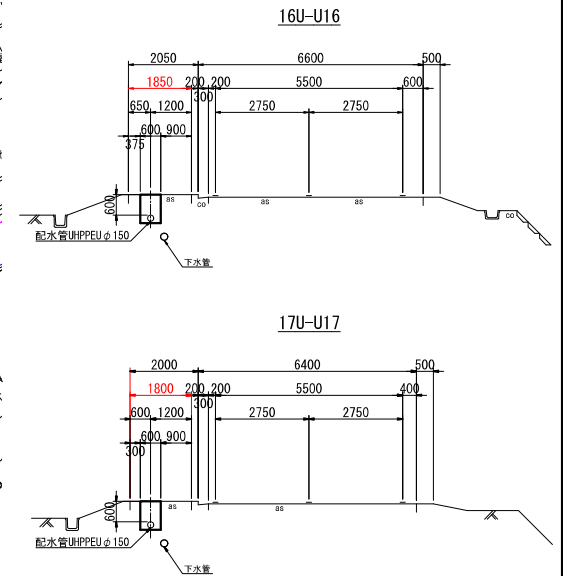
誘導員配置日数 2人編成 6日×2人 = 12日

舗装復旧計画図(1)

平面図 SU=U1:500

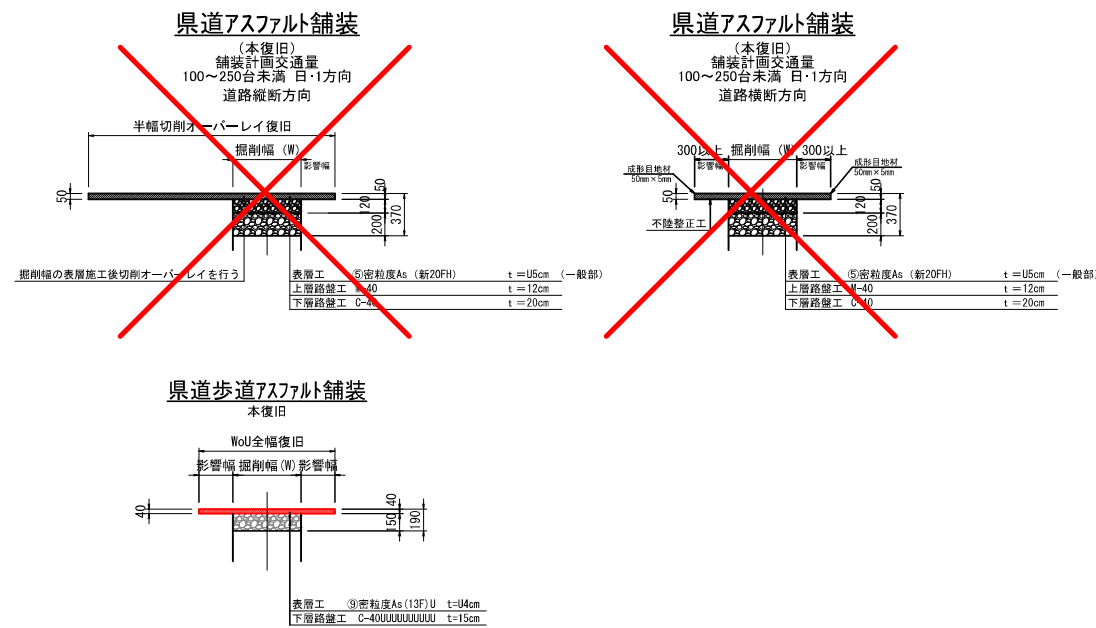


横U断面U図 S=1:100



舗装復旧標準断面図 S=1:30

S=1:30



年度	令和8年度	工事番号	
施行U地	阿賀町	綱木	地内
工事U名	R&U綱木簡水第1号 綱木水道施設整備事業 綱木水道施設U舗装本復旧U第17次工事		
図面U名	舗装復旧計画図(1)		
縮尺	図示	図番	業のUU
製図	R UU年UU月U 日 設計	R UU年UU月U 日	
東蒲原郡阿賀町			